

【大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください】

2023年4月1日  
公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員のみなさんが宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場内（招集所出口からテابل・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

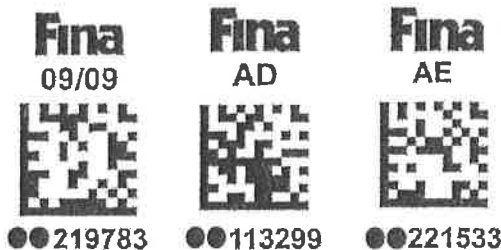
ロゴマークの種類/用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
上記の(1)～(4)	競泳は50cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。(注1)	メーカーロゴは40cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。マークは20cm <sup>2</sup> 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。マークは20cm <sup>2</sup> 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。	40cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。	20cm <sup>2</sup> 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

- 1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。  
※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。
- 2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。
- 3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。  
※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。



令和6年度 第60回 茨城県民総合体育大会水泳競技大会  
兼 第78回 国民スポーツ大会茨城県大会

部長 谷津 勉 (太田一校長)  
副部長 細矢 英三 (牛久栄進教頭)  
引地 英夫 (竜ヶ崎南教頭)  
委員長 麻植 崇允 (大洗)

【競技役員】 5/11(土)

審判長 麻植 崇允 (大洗)  
副審判長 安藤 正宏 (勝田工) 菊池 和博 (茨水連)  
機械審判 岩田 亮一 (古河中等)  
出発合図員(主) 木村 和樹 (常盤大高) 磯畑 光幸 (茨水連) 大野 満 (茨水連) 11日  
荻 敦 (茨水連) 11日  
泳法審判員(主) 荻谷 英子 (茨城) 岩井 淳一 (茗溪学園) 福田 学 (土浦二)  
高羽 綾子 (茨水連)  
竹内 芳夫 (茨水連) 桔梗谷 昭男 (茨水連) 稲葉 寿郎 (清真学園) 11日  
小林 隆志 (茨水連) 11日  
折返監察員(主) 阿部 なつき (並木中等)  
A 柏木 恵梨菜 (茨キリスト) 鈴木 和恵 (茨水連) 石黒 深 (茨水連)  
山田 雅子 (茨水連) 増田 隆生 (水戸啓明) 仲田 大輔 (水城)  
安藤 邦彬 (茨城高等) 渡邊 元喜 (鉾田一) 黒羽 信夫 (水戸一)  
青田 和浩 (竹園) 安藤 陽泰 (国際大東風) 埴 光博 (茨水連) 12日  
B 鈴木 誠 (茨水連) 永田 眞裕 (茨水連) 高野 一彦 (茨水連)  
新堀 麻理 (茨水連) 久保 初美 (茨水連) 能勢 三和 (TAP龍ヶ崎)  
小室 壮矢 (茨城大学) 筒井 結也 (茨城大学) 泉谷 優輔 (茨城大学)  
中條 樹 (茨城大学) 石川 敬斗 (茨城大学) 11日 木下 はる江 (茨水連) 12日  
原田 静也 (リリ-SC) 12日  
C 松本 勝典 (茨水連) 11日 浅野 俊之 (茨水連) 11日 久保田 信行 (茨水連) 11日  
廣木 慎一 (茨水連) 11日 高野 まり子 (茨水連) 11日 黒澤 範子 (茨水連) 11日  
高橋 宏美 (茨水連) 11日 森 由子 (茨水連) 11日 田山 裕美 (水戸市水協) 11日  
池田 裕美子 (水戸市水協) 11日 水谷 理恵子 (スポ振協) 11日  
記録員(主) 岡本 三枝 (取手一) 橋本 裕見 (茨水連) 佐々木 量子 (水海道二) 11日  
松本 周美 (境) 12日  
機械・映像操作(主) 金子 真紀 (江戸川学園) 増田 宗武 (江戸川学園) 鎌田 祐輔 (牛久栄進)  
大山 敏志 (茨水連) 色川 孝 (茨水連) 11日

計 時 員	A	近 藤 敬 (水城)11日	田 山 敏 行 (水戸桜ノ牧)12日	
		木 村 光 由 起 (石岡二)	三 浦 健 太 (東洋大牛久)	湯 本 康 二 (古河一)
		石 田 智 宏 (中央)	市 川 英 樹 (下館二)	五 十 嵐 浩 (茨城高専)
		志 賀 卓 (土浦工)	川 島 正 敏 (玉造工)11日	山 下 雄 大 (波崎柳川)11日
		小 川 浩 之 (下妻一)12日	大 和 田 昭 幸 (下館工)12日	
	B	田 村 美 寿 規 (藤代紫水)	出 澤 美 和 (常総学院)	
		菅 原 加 津 司 (水戸二)	中 嶋 拓 都 (鹿島)	
		赤 羽 根 芳 彰 (水戸桜ノ牧)11日	村 上 潤 (竜ヶ崎一)11日	高 倉 亜 維 (佐和)11日
		斎 藤 智 子 (牛久)11日	堀 込 純 子 (下妻一)11日	畠 山 諒 子 (伊奈)11日
		星 野 宏 治 (石岡一)11日	櫻 井 浩 (古河二)11日	
		西 山 光 司 (鉾田二)12日	飯 島 正 和 (佐和)12日	佐 久 間 祐 弥 (竜ヶ崎一)12日
		大 友 孝 太 (波崎柳川)12日	淀 縄 将 人 (石岡一)12日	中 山 和 徳 (古河二)12日
		道 旗 隆 之 (藤代)12日		
招 集 員 (主)		塚 本 泰 大 (水戸三)	吉 原 博 孝 (緑岡)11日	小 原 弘 友 紀 (鹿島学園)11日
		江 連 地 大 (太田一)	宇 野 慎 太 郎 (緑岡)12日	伊 藤 綱 章 (鹿島学園)12日
		大 良 真 理 (土浦日大)	細 津 由 紀 子 (取手聖徳女子)	高 野 悠 美 (水戸葵陵)
通 告 員 (主)		飯 嶋 弥 生 (常総学院)	佐 々 木 美 津 子 (茨水連)	杉 山 正 樹 (常総学院)12日
賞 典 (主)		和 田 裕 子 (鬼怒商)	佐 川 久 子 (磯原郷英)11日	端 淳 子 (勝田)12日
		矢 野 彩 夏 (清真学園)	高 安 真 美 (鉾田二)11日	中 村 優 子 (藤代)11日
		石 倉 由 貴 (潮来)12日	町 田 玲 子 (伊奈)12日	
式 典 (主)		阿 部 な つ き (並木中等)	県内高校水泳部の補助役員	
音 響 (主)		林 拓 哉 (並木中等)	網 野 秀 太 郎 (土浦日大中等)	
受 付 ・ 撮 影 許 可 (主)		石 塚 洋 右 (古河三)	菅 原 章 雄 (下妻二)	
		萩 原 正 美 (下館工)11日	吉 川 満 (岩瀬)11日	増 田 誠 也 (下館一)11日
		須 藤 一 司 (玉造工)12日	小 島 和 男 (下館一)12日	
総 務		上 岡 龍 平 (多賀)	森 田 裕 樹 (日立一)	小 泉 恵 子 (茨水連)
		染 谷 隆 之 (境)11日		
【飛込競技役員】	◎	坂 田 和 也 (取手二)	中 山 拓 弥 (霞ヶ浦)	萩 谷 佐 央 理 (水戸南)
		大 久 保 一 司 (結城二)	吉 原 直 博 (茨水連)	畑 岡 寿 (茨水連)
		鈴 木 義 雄 (茨水連)	畑 岡 映 美 (茨水連)	坂 田 由 貴 (茨水連)
		関 口 拓 朗 (茨水連)	小 林 和 真 (茨水連)	
【水球競技役員】	◎	岩 佐 弘 之 (並木中等)	吉 原 博 孝 (緑岡)	近 藤 敬 (水城)
		吉 岡 航 (土浦二)	荒 木 萌 (並木中等)	飯 田 祥 世 (釜崎)
		田 村 美 寿 規 (藤代紫水)	岡 田 裕 之 (土浦一)	谷 初 治 (茨水連)
		石 川 廣 (茨水連)		

令和6年度 第60回 茨城県民総合体育大会水泳競技大会

兼 第78回 国民スポーツ大会茨城県大会 水泳競技順序(競技番号順)

Day 1

No	性別	距離	種目	予/決		組数	時刻	
		開 場					8:30	
		ウォーミングアップ開始					8:30	
		主任打合せ					9:00	
		役員打合せ					9:20	
		ウォーミングアップ終了					9:55	
		開会式					10:05	
1	女子	4×100m	フリーリレー	タイム決勝	8:00	1	10:20	
2	男子	4×100m	フリーリレー	タイム決勝	8:00	2	10:28	
		表 彰			6:00		10:49	
		休憩(約15分程度)						
3	女子	100m	背泳ぎ	予選	2:30	3	11:10	
4	男子	100m	背泳ぎ	予選	2:30	3	11:17	
5	女子	100m	バタフライ	予選	2:30	2	11:25	
6	男子	100m	バタフライ	予選	2:30	3	11:30	
7	女子	200m	自由形	予選	3:30	2	11:37	
8	男子	200m	自由形	予選	3:30	3	11:44	
9	女子	100m	平泳ぎ	予選	2:30	3	11:55	
10	男子	100m	平泳ぎ	予選	2:30	5	12:02	
11	女子	50m	自由形	予選	2:00	5	12:15	
12	男子	50m	自由形	予選	2:00	10	12:25	
		休憩(約40分程度)						
13	女子	800m	自由形	タイム決勝	15:00	1	13:30	
14	男子	1500m	自由形	タイム決勝	26:00	1	13:45	
		表 彰			6:00		14:14	
15	女子	400m	個人メドレー	タイム決勝	9:00	1	14:20	
16	男子	400m	個人メドレー	タイム決勝	9:00	2	14:29	
		表 彰 飛込表彰			12:00		14:49	
17	女子	100m	背泳ぎ	決勝	3:30	1	15:01	
18	男子	100m	背泳ぎ	決勝	3:30	1	15:04	
		表 彰			6:00		15:09	
19	女子	100m	バタフライ	決勝	3:30	1	15:15	
20	男子	100m	バタフライ	決勝	3:30	1	15:18	
		表 彰			6:00		15:23	
21	女子	200m	自由形	決勝	5:00	1	15:29	
22	男子	200m	自由形	決勝	5:00	1	15:34	
		表 彰			6:00		15:40	
23	女子	100m	平泳ぎ	決勝	3:30	1	15:50	
24	男子	100m	平泳ぎ	決勝	3:30	1	15:53	
		表 彰			6:00		15:57	
25	女子	50m	自由形	決勝	3:00	1	16:03	
26	男子	50m	自由形	決勝	3:00	1	16:06	
		表 彰			6:00		16:10	
						競技終了	16:16	

【リレーオーダー用紙 提出締切時刻】

[4×100m フリーリレー] タイム決勝 9:50

# 末弘 巖太郎

先ず正しいトレーニングによって体を作れ。  
体を作ることが忘れて、いたずらに技巧の習得を努めても決してタイムは上がらない。

体と泳ぎとを作ることが目的とする基礎練習と、

レース前の調子を作ることを目的とする練習とを混同してはならぬ。

レース前になって、むやみにタイムばかりを取ると練習は最も悪い練習である。

肉体的にも精神的にもいたずらに精力を消耗するだけのことである。

むやみに力泳するよりは、水に垂る調子を得ることが何より大切である。

スタートとターニングとの練習は、泳ぎそのものの練習より大事だと思わねばならぬ。

二つのストロークを失敗しないように泳ぐ事が最も良いタイムを得る方法である。

# 練習十則

レース前の練習に出づれば毎夕泳必す体重を測れ。

もしも朝の計量において体重の回復が充分でないことを発見したならば練習の分量を減らさなければならぬ。

スランプは精神よりむしろ体力の欠陥に原因していると思わねばならぬ。

いたずらにあせるより、思いきつて二三日練習を休む方がよろしい。

レース間隙に体を休ませるつもりで力泳を控えることは非常に危険である。

体を休ませるために、練習分量を減らしたければ、力泳をせしめつつ、その分量を減らすようにせねばならぬ。  
休ませるつもりでフラフラ泳がせると調子がくずれてしまう。

あがる癖のある選手にいくら精神訓話を与えても、何にもならない。いかなる場合にも体を柔らかくして、  
水に垂って泳げるように徹底的に練習させ、疲つてしまふことが何より大切である。

良き練習は良きコーチによつてのみ行われ得る。しかしコーチのみ頼つて自ら工夫することなき選手は上達しない。

令和6年度 第60回 茨城県民総合体育大会水泳競技大会  
兼 第78回 国民スポーツ大会茨城県大会

部長 谷津 勉 (太田一校長)  
副部長 細矢 英三 (牛久栄進教頭)  
引地 英夫 (竜ヶ崎南教頭)  
委員長 麻植 崇允 (大洗)

【競技役員】 5/12(日)

審判長 麻植 崇允 (大洗)  
副審判長 安藤 正宏 (勝田工) 菊池 和博 (茨水連)  
機械審判 岩田 亮一 (古河中等)  
出発合図員(主) 木村 和樹 (常磐大高) 磯畑 光幸 (茨水連)  
泳法審判員(主) 荻谷 英子 (茨城) 岩井 淳一 (茗溪学園) 福田 学 (土浦二)  
高羽 綾子 (茨水連) 竹内 芳夫 (茨水連) 桔梗谷 昭男 (茨水連)  
折返監察員(主) 阿部 なつき (並木中等)  
A 柏木 恵梨菜 (茨キリスト) 安藤 邦彬 (茨城高専) 渡邊 元喜 (鉾田一)  
黒羽 信夫 (水戸一) 青田 和浩 (竹園) 安藤 陽泰 (国際大東風)  
B 鈴木 誠 (茨水連) 原田 静也 (リリーSC) 小室 壮矢 (茨城大学)  
筒井 結也 (茨城大学) 泉谷 優輔 (茨城大学) 中條 樹 (茨城大学)  
C 永田 眞裕 (茨水連) 塙 光博 (茨水連) 石黒 潔 (茨水連)  
高野 一彦 (茨水連) 増田 隆生 (水戸啓明) 仲田 大輔 (水城)  
D 鈴木 和恵 (茨水連) 新堀 麻理 (茨水連) 久保 初美 (茨水連)  
山田 雅子 (茨水連) 木下 はる江 (茨水連) 能勢 三和 (TAP龍ヶ崎)  
記録員(主) 岡本 三枝 (取手一) 橋本 裕見 (茨水連) 松本 周美 (境)  
機械・映像操作(主) 金子 真紀 (江戸川学園) 増田 宗武 (江戸川学園) 鎌田 祐輔 (牛久栄進)  
大山 敏志 (茨水連)  
計時員 A 田村 美寿規 (藤代紫水)  
木村 光由起 (石岡二) 三浦 健太 (東洋大牛久) 湯本 康二 (古河一)  
石田 智宏 (中央) 市川 英樹 (下館二) 五十嵐 浩 (茨城高専)

	志賀 卓 (土浦工)	小川 浩之 (下妻一)12日	大和田 昭幸 (下館工)12日
	B 田山 敏行 (水戸桜ノ牧)	出澤 美和 (常総学院)	
	菅原 加津司 (水戸二)	中嶋 拓都 (鹿島)	西山 光司 (銚田二)
	飯島 正和 (佐和)	佐久間 祐弥 (竜ヶ崎一)	大友 孝太 (波崎柳川)
	淀縄 将人 (石岡一)	中山 和徳 (古河二)	道旗 隆之 (藤代)
招 集 員 (主)	塚本 泰大 (水戸三)	宇野 慎太郎 (緑岡)	伊藤 綱章 (鹿島学園)
	江連 地大 (太田一)	大良 真理 (土浦日大)	細津 由紀子 (取手聖徳女子)
	高野 悠美 (水戸葵陵)		
通 告 員 (主)	飯嶋 弥生 (常総学院)	佐々木 美津子 (茨水連)	杉山 正樹 (常総学院)
賞 典 (主)	和田 裕子 (鬼怒商)	塙 淳子 (勝田)	矢野 彩夏 (清真学園)
	石倉 由貴 (潮来)	町田 玲子 (伊奈)	
式 典 (主)	阿部 なつき (並木中等)	県内高校水泳部の補助役員	
音 響 (主)	林 拓哉 (並木中等)	網野 秀太郎 (土浦日大中等)	
受付・撮影許可 (主)	石塚 洋右 (古河三)	菅原 章雄 (下妻二)	須藤 一司 (玉造工)
	小島 和男 (下館一)		
総 務	上网 龍平 (多賀)	森田 裕樹 (日立一)	小泉 恵子 (茨水連)
【飛込競技役員】	◎ 坂田 和也 (取手二)	中山 拓弥 (霞ヶ浦)	萩谷 佐央理 (水戸南)
	大久保 一司 (結城二)	吉原 直博 (茨水連)	畑岡 寿 (茨水連)
	鈴木 義雄 (茨水連)	畑岡 映美 (茨水連)	坂田 由貴 (茨水連)
	関口 拓朗 (茨水連)	小林 和真 (茨水連)	
【水球競技役員】	◎ 岩佐 弘之 (並木中等)	吉原 博孝 (緑岡)	近藤 敬 (水城)
	吉岡 航 (土浦二)	荒木 萌 (並木中等)	飯田 祥世 (釜崎)
	田村 美寿規 (藤代紫水)	岡田 裕之 (土浦一)	谷 初治 (茨水連)
	石川 廣 (茨水連)		

令和6年度 第60回 茨城県民総合体育大会水泳競技大会

兼 第78回 国民スポーツ大会茨城県大会 水泳競技順序(競技番号順)

Day 2

No	性別	距離	種目	予/決		組数	時刻	
		開 場					8:15	
		ウォーミングアップ開始					8:30	
		主任打合せ					9:00	
		役員打合せ					9:20	
		ウォーミングアップ終了					9:55	
		競技開始前連絡					10:05	
27	女子	4×100m	メドレーリレー	タイム決勝	8:00	1	10:20	
28	男子	4×100m	メドレーリレー	タイム決勝	8:00	2	10:28	
		表 彰			6:00		10:44	
休憩(約15分程度)								
29	女子	200m	個人メドレー	予選	3:30	2	11:10	
30	男子	200m	個人メドレー	予選	3:30	2	11:17	
31	女子	200m	背泳ぎ	予選	3:30	1	11:24	
32	男子	200m	背泳ぎ	予選	3:30	2	11:27	
33	女子	200m	平泳ぎ	予選	3:30	2	11:34	
34	男子	200m	平泳ぎ	予選	3:30	3	11:41	
35	女子	200m	バタフライ	予選	3:30	1	11:52	
36	男子	200m	バタフライ	予選	3:30	1	11:55	
37	女子	100m	自由形	予選	2:30	4	11:59	
38	男子	100m	自由形	予選	2:30	8	12:09	
休憩(約40分程度)								
39	女子	400m	自由形	タイム決勝	9:00	1	13:10	
40	男子	400m	自由形	タイム決勝	8:30	2	13:19	
		表 彰			6:00		13:36	
41	女子	200m	個人メドレー	決勝	5:00	1	13:42	
42	男子	200m	個人メドレー	決勝	5:00	1	13:47	
		表 彰			6:00		13:52	
43	女子	200m	背泳ぎ	決勝	5:00	1	14:00	
44	男子	200m	背泳ぎ	決勝	5:00	1	14:05	
		表 彰			6:00		14:10	
45	女子	200m	平泳ぎ	決勝	5:00	1	14:16	
46	男子	200m	平泳ぎ	決勝	5:00	1	14:21	
		表 彰 飛込表彰			12:00		14:26	
47	女子	200m	バタフライ	決勝	5:00	1	14:40	
48	男子	200m	バタフライ	決勝	5:00	1	14:45	
		表 彰			6:00		14:50	
49	女子	100m	自由形	決勝	3:30	1	14:56	
50	男子	100m	自由形	決勝	3:30	1	14:59	
		表 彰			6:00		15:03	
休憩(約15分程度)								
51	女子	4×200m	フリーリレー	タイム決勝	15:00	1	15:25	
52	男子	4×200m	フリーリレー	タイム決勝	15:00	1	15:40	
		表 彰			6:00		15:55	
						競技終了	16:01	
		表 彰 式 (16:40~予定)						
						終了	16:50	

※ 競技終了後、全体で後片付け・清掃後に表彰式

【リレーオーダー用紙 提出締切時刻】

[4×100m メドレーリレー] タイム決勝 9:50

[4×200m フリーリレー] タイム決勝 14:30



# 飛 込 日 競 程 技

令和6年5月11日(土)

1. 男子 3m飛板飛込 決勝
2. 女子 3m飛板飛込 決勝

令和6年5月12日(日)

3. 男子 高飛込 決勝
4. 女子 高飛込 決勝

場所：山新スイミングアリーナ

# 飛込競技の概要

## 飛込競技種目

競技種目は大きく分けて飛板飛込と高飛込の2種目である。大会によっては飛び込む高さが自由な場合と指定されている場合があるため、飛板飛込の高さが指定された場合は1m飛板飛込と3m飛板飛込に種目が分けられて競技が行われる。高飛込は5m、7.5m、10mの飛込台があり、大会によって台の高さを指定する場合もあるが、それ以外はどの高さでも演技することが可能である。全国高校総体では3m飛板飛込と高さが自由な高飛込の競技が行われる。

## 飛込の演技種目

飛込競技の演技の全ては登録されていて、6つの群に分けられている。

- 1群—飛込台に前向きに立ち、前に回転しながら飛び込む演技
- 2群—飛込台に後ろ向きに立ち、後ろに回転しながら飛び込む演技
- 3群—飛込台に前向きに立ち、後ろに回転しながら飛び込む演技
- 4群—飛込台に後ろ向きに立ち、前に回転しながら飛び込む演技
- 5群—1～4群の演技に捻りの加わった演技
- 6群—逆立ちをしてから行う演技  
(高飛込のみの演技)

これら全ての群で半回転または半回捻りが増すごとに異なった演技となる。これらの演技全てに難易度が決められ、回転や捻りの回数が増えることや高さや演技の型、(抱型、えび型、伸型)等に応じて難易度が高くなる。

大会によって選手が行う演技数は飛板飛込、高飛込それぞれ決められた構成で演技を行う。

- ・制限選択飛—各群から演技を選び、その演技の難易度合計が制限されている。
- ・自由選択飛—各群から演技を選び、その演技の難易度合計に制限がない。

これらの演技種目は競技が行われる前日に競技本部へダイブシートに本人が記入して提出される。

## 全国高校総体での演技種目

全国高校総体での演技種目は、予選は自由選択飛のみを行い、決勝は制限選択飛と自由選択飛の全ての演技を行い競われる。

- ◇ 男子の部
  - ・3m飛板飛込 11演技種目  
制限選択飛 (難易度合計9.5以内)  
各群より5演技
  - 自由選択飛 各群より6演技
  - ・高飛込 10演技種目  
制限選択飛 (難易度合計7.6以内)  
異群より4演技
  - 自由選択飛 各群より6演技
- ◇ 女子の部
  - ・3m飛板飛込 10演技種目  
制限選択飛 (難易度合計9.5以内)  
各群より5演技
  - 自由選択飛 各群より5演技
  - ・高飛込 9演技種目  
制限選択飛 (難易度合計7.6以内)  
異群より4演技
  - 自由選択飛 各群より5演技

## 飛込競技の採点方法

飛込競技は、わずか2秒弱の間に高度な技を行う採点競技です。水しぶきを上げない入水をノースプラッシュと呼び高得点につながります。

採点のポイントは以下の4点になります。

- ①開始の姿勢とアプローチ②踏切③空中演技④入水  
これらを総合判断し全体的な印象を基に0.5点刻みの10点満点で採点します。それぞれの観点で不備があった場合には、審判員が減点します。

また公開競技としてシンクロダイビング競技を実施します。3m飛板から2名1組の競技者が同時に演技するものである。この競技はいかに両競技者の演技の同調性が取れているか、又、個々の競技者の演技が優れているかを判定する。

各演技の算出方法は以下の通りになる。

記録員はそれぞれ下記の例に従い、残された評点を加算し、それにその演技の難易度を掛けて得点を算出する。(D 7.8)

### ① 個人競技

$$1) \text{ 5人ジャッジ制: } \cancel{8.0}, 7.5, 7.5, 7.5, \cancel{7.0} = 22.5 \times 2.0 = 45.0$$

$$2) \text{ 7人ジャッジ制: } \cancel{8.0}, \cancel{7.5}, 7.5, 7.5, 7.5, \cancel{7.5}, \cancel{7.0} = 22.5 \times 2.0 = 45.0$$

### ② シンクロダイビング競技

#### 1) 9人ジャッジ制:

$$\text{演技1 : } \cancel{7.0}, 6.5$$

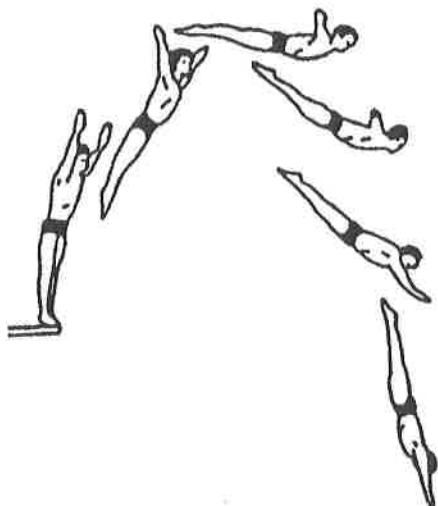
$$\text{演技2 : } 5.5, \cancel{5.5}$$

$$\text{同調 : } \cancel{8.5}, 8.0, 8.0, 7.5, \cancel{7.5}$$

$$= 35.5 \div 5 \times 3 = 21.3 \times 2.8 = 59.64$$

# 飛込の群

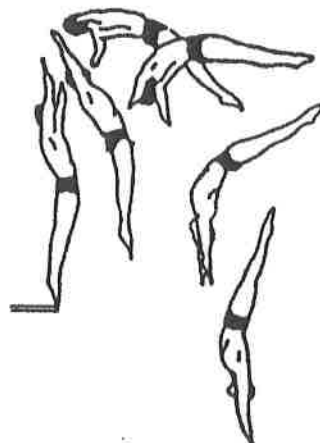
第1群 前飛込



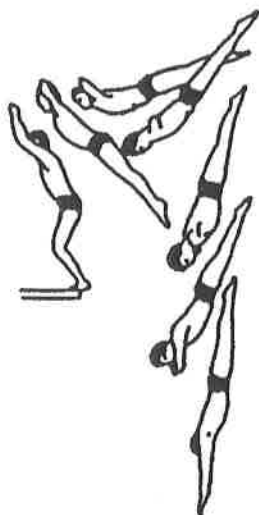
第2群 後飛込



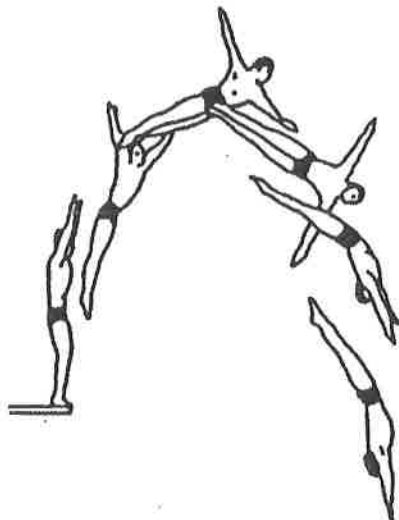
第3群 前逆飛込



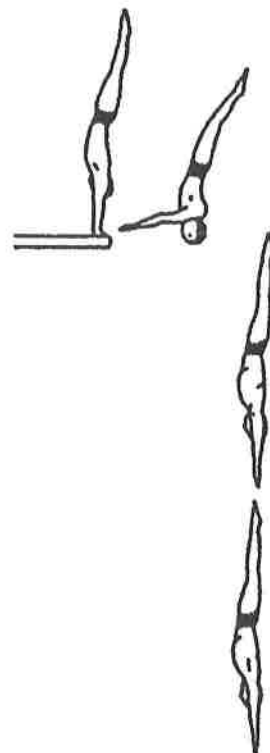
第4群 後踏切り前飛込



第5群 ひねり飛込



第6群 さか立ち飛込



# 飛込の型

A型(伸型)

イ.



ロ.



イ.



B型(蝦型)

ロ.



ハ.



C型(抱型)

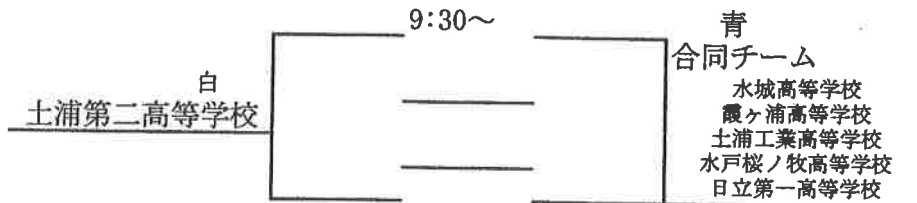


# 水球競技日程

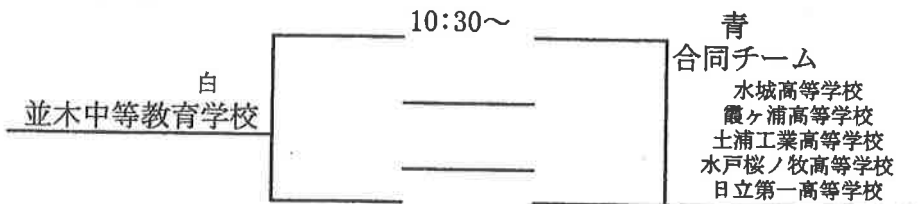
5月26日(日)

山新スイミングアリーナ

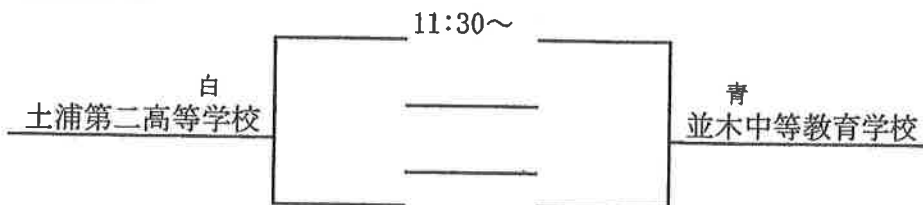
○第一試合



○第二試合



○第三試合



- ※ 試合は7分2ピリオドで行う
- ※ 同点の場合はPSOを行う

2 令和6年度第60回茨城県民総合体育大会水泳競技大会 兼 第78回国民スポーツ大会茨城県大会

- 1 主 催 茨城県・茨城県教育委員会・(公財)茨城県スポーツ協会  
 2 主 管 茨城県高等学校体育連盟・茨城県高等学校体育連盟水泳専門部・(一社)茨城県水泳連盟  
 3 後 援 ひたちなか市・ひたちなか市教育委員会  
 4 場 所 (競泳) 山新スイミングアリーナ  
 (飛込) 山新スイミングアリーナ  
 (水球) 山新スイミングアリーナ  
 〒312-0001 ひたちなか市佐和2197-28 TEL 029-202-0808
- 5 期 日 (競泳) 令和6年 5月11日(土)・12日(日)  
 (飛込) 令和6年 5月11日(土)・12日(日)  
 (水球) 令和6年 5月26日(日)
- 6 競技方法 学校対抗・男女別・種目別得点競技  
 個人種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は1位16点、  
 2位14点……8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与  
 える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は、次の  
 順序に従って順位を決定する。  
 ア リレー種目による得点の多い学校。  
 イ 各種目の入賞者数の多い学校。(但し、リレー種目は4と計算する)  
 ウ 1位の数。  
 エ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)  
 予選は10レーン、決勝(タイム決勝)は10レーンで行う。  
 尚、200m以下の種目において予選競技が1組以内の場合も、予選と決勝を行う。
- 7 種 目  
 自由形 50m・100m・200m・400m・800m(女)・1500m(男)  
 平泳ぎ 100m・200m 背泳ぎ 100m・200m  
 バタフライ 100m・200m 個人メドレー 200m・400m  
 フリーリレー4×100m・4×200m メドレーリレー 4×100m
- 8 参加資格  
 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在  
 籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。  
 (2) 選手は、県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2024年度公  
 益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。  
 (3) 年齢は、平成17年(2005年)4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場  
 は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。「出場」とは登録やエ  
 ントリーでなく、試合の出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。  
 (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認  
 めない。  
 (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。  
 ア 部員不足に伴う合同チーム  
 (全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と  
 同専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」  
 に基づき、茨城県高等学校体育連盟会長により大会参加が認められた場合)  
 イ 統廃合対象校による合同チーム  
 (統廃合完了前の2年間に限る)  
 (6) 転校(転籍)後1年未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)  
 但し、一家転住等やむを得ない場合は、県高等学校体育連盟会長の承認があればこの限  
 りではない。  
 (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育  
 連盟会長の承認を必要とする。  
 (8) 参加資格の特例  
 ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たす  
 と判断され、県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程に  
 従い大会参加を認める。  
 イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の  
 出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、県高等学  
 校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。  
 2 以下の条件を具備すること。  
 (1) 大会参加を認める条件  
 ア 県高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。  
 イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修学年限ともに高等  
 学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。  
 ウ 各学校にあっては、県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、専門部  
 での出場条件が満たされていること。  
 エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧  
 問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著し  
 く均衡を失することなく、運営が適切であること。  
 (2) 大会参加に際し守るべき条件  
 ア 県高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に  
 従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。  
 イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入してお  
 くなど、万全の事故対策を講じておくこと。  
 ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- (9) 大会参加制限  
 外国人留学生の出場枠について（出場枠を設けている専門部に適用）  
 ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。  
 イ 在籍校が、県高等学校体育連盟に加盟していること。  
 ウ 年齢は、平成17年（2005年）4月2日以降に生まれたものとする。  
 エ 短期留学生は認めない。  
 オ 人数については全国高等学校総合体育大会に準じて各専門部で制限を設ける。

9 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。  
 (2) 引率責任者は、当該校の職員（但し、事務職員・技術職員を除く）とし、参加選手の行動に対して責任を負うものとする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。  
 (3) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

10 競技順序

開場時間	8時30分	開場時間	8時15分
主任会議	9時00分	主任会議	9時00分
役員打合せ	9時20分	役員打合せ	9時20分
開会式	10時05分～（10分間）	競技開始前連絡	10時05分～（10分間）
競技開始時間	10時20分	競技開始時間	10時20分

1日目					2日目				
No	性別	距離	種目	予/決	No	性別	距離	種目	予/決
1	女子	4×100m	フリーリレー	タイム決勝	27	女子	4×100m	メドレーリレー	タイム決勝
2	男子	4×100m	フリーリレー	タイム決勝	28	男子	4×100m	メドレーリレー	タイム決勝
3	女子	100m	背泳ぎ	予選	29	女子	200m	個人メドレー	予選
4	男子	100m	背泳ぎ	予選	30	男子	200m	個人メドレー	予選
5	女子	100m	バタフライ	予選	31	女子	200m	背泳ぎ	予選
6	男子	100m	バタフライ	予選	32	男子	200m	背泳ぎ	予選
7	女子	200m	自由形	予選	33	女子	200m	平泳ぎ	予選
8	男子	200m	自由形	予選	34	男子	200m	平泳ぎ	予選
9	女子	100m	平泳ぎ	予選	35	女子	200m	バタフライ	予選
10	男子	100m	平泳ぎ	予選	36	男子	200m	バタフライ	予選
11	女子	50m	自由形	予選	37	女子	100m	自由形	予選
12	男子	50m	自由形	予選	38	男子	100m	自由形	予選
13	女子	800m	自由形	タイム決勝	39	女子	400m	自由形	タイム決勝
14	男子	1500m	自由形	タイム決勝	40	男子	400m	自由形	タイム決勝
15	女子	400m	個人メドレー	タイム決勝	41	女子	200m	個人メドレー	決勝
16	男子	400m	個人メドレー	タイム決勝	42	男子	200m	個人メドレー	決勝
17	女子	100m	背泳ぎ	決勝	43	女子	200m	背泳ぎ	決勝
18	男子	100m	背泳ぎ	決勝	44	男子	200m	背泳ぎ	決勝
19	女子	100m	バタフライ	決勝	45	女子	200m	平泳ぎ	決勝
20	男子	100m	バタフライ	決勝	46	男子	200m	平泳ぎ	決勝
21	女子	200m	自由形	決勝	47	女子	200m	バタフライ	決勝
22	男子	200m	自由形	決勝	48	男子	200m	バタフライ	決勝
23	女子	100m	平泳ぎ	決勝	49	女子	100m	自由形	決勝
24	男子	100m	平泳ぎ	決勝	50	男子	100m	自由形	決勝
25	女子	50m	自由形	決勝	51	女子	4×200m	フリーリレー	タイム決勝
26	男子	50m	自由形	決勝	52	男子	4×200m	フリーリレー	タイム決勝

11 申込方法

- Web-SWMSYSで申し込み登録をする。  
 【提出物】 ●令和6年度茨城県高体連水泳専門部競技会申込書  
 ●競技会申し込み（エントリー-TIME）データ一覧表  
 ●競技会申し込み（リレー）データ一覧表 …リレー種目に出場しない学校は不要  
 ●競技会申込明細表（料金表）

12 大会参加料

この大会に限り大会参加料が発生する。  
 大会当日の朝、受付で徴収する。当日棄権者の参加料は返金できない。  
 大会参加料は、（競泳）個人種目 1,300円、リレー種目 2,000円  
 （飛込）個人種目 1,300円  
 （水球）1チーム 12,000円

13 参加制限

1校1種目3名以内、1人2種目以内とする。  
 ただし、リレー種目は、1校1種目1チームとする。  
 ※1校1種目4名以上出場する場合は、4番目以降の選手をオープン参加として大会出場を認める。尚、申し込みの際には、「誰がオープン出場か分かるように」明記すること。（エントリー-TIMEデータ一覧表の、選手名の左わきに「OP」と記すこと。）

～オープン（OP）参加選手の出場条件について～

- ① 学校対抗の得点にはならない。  
 ② 出場は予選競技のみとする。また、ランキングから除外し、決勝競技には出場できない。  
 ③ 関東標準・全国標準を突破しても、本大会への出場は出来ない。また、好記録であっても新記録の認定を行わない。

14 申込締切

令和6年 5月 7日（火）正午 までに必着のこと。

15 申込先

茨城県立 大洗 高等学校 麻植 崇 允  
 〒311-1311 東茨城郡大洗町大貫町2908番地

16 プロ編成

令和6年 5月 8日（水）茨城県立 大洗 高等学校

17 表彰

団体男女別、個人種目・リレー種目共に上位8位までの入賞者に賞状を贈る。

18 その他

- (1) 参加校の選手は、必ず当該校の職員または部活動指導員によって引率され、参加選手の行動に対して責任を負うものとする。引率のいない学校の選手は出場を認めない。  
 (2) 当日の開門時間を厳守して、早朝からの場所取りは認めない。常に高校生らしい態度で臨むようにする。

2 令和6年度第60回茨城県民総合体育大会水泳競技大会 兼 第78回国民スポーツ大会茨城県大会

- 1 主催 茨城県・茨城県教育委員会・(公財)茨城県スポーツ協会  
 2 主管 茨城県高等学校体育連盟・茨城県高等学校体育連盟水泳専門部・(一社)茨城県水泳連盟  
 3 後援 ひたちなか市・ひたちなか市教育委員会  
 4 場所 (競泳) 山新スイミングアリーナ  
 (飛込) 山新スイミングアリーナ  
 (水球) 山新スイミングアリーナ  
 〒312-0001 ひたちなか市佐和2197-28 TEL 029-202-0808
- 5 期 日 (競泳) 令和6年 5月11日(土)・12日(日)  
 (飛込) 令和6年 5月11日(土)・12日(日)  
 (水球) 令和6年 5月26日(日)
- 6 競技方法 学校対抗・男女別・種目別得点競技  
 個人種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は1位16点、  
 2位14点……8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与  
 える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は、次の  
 順序に従って順位を決定する。  
 ア リレー種目による得点の多い学校。  
 イ 各種目の入賞者数の多い学校。(但し、リレー種目は4と計算する)  
 ウ 1位の数。  
 エ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)  
予選は10レーン、決勝(タイム決勝)は10レーンで行う。  
尚、200m以下の種目において予選競技が1組以内の場合も、予選と決勝を行う。
- 7 種 目  
 自由形 50m・100m・200m・400m・800m(好)・1500m(野)  
 平泳ぎ 100m・200m 背泳ぎ 100m・200m  
 バタフライ 100m・200m 個人メドレー 200m・400m  
 フリーリレー4×100m・4×200m メドレーリレー 4×100m
- 8 参加資格  
 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在  
 籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。  
 (2) 選手は、県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2024年度公  
 益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。  
 (3) 年齢は、平成17年(2005年)4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場  
 は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。〔「出場」とは登録やエ  
 ントリーでなく、試合の出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。〕  
 (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認  
 めない。  
 (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。  
 ア 部員不足に伴う合同チーム  
 (全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と  
 同専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」  
 に基づき、茨城県高等学校体育連盟会長により大会参加が認められた場合)  
 イ 統廃合対象校による合同チーム  
 (統廃合完了前の2年間に限る)  
 (6) 転校(転籍)後1年未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)  
 但し、一家転住等やむを得ない場合は、県高等学校体育連盟会長の承認があればこの限  
 りではない。  
 (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育  
 連盟会長の承認を必要とする。  
 (8) 参加資格の特例  
 ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たす  
 と判断され、県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程に  
 従い大会参加を認める。  
 イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の  
 出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、県高等学  
 校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。  
 2 以下の条件を具備すること。  
 (1) 大会参加を認める条件  
 ア 県高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。  
 イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修学年限ともに高等  
 学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。  
 ウ 各学校にあっては、県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、専門部  
 での出場条件が満たされていること。  
 エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧  
 問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著し  
 く均衡を失することなく、運営が適切であること。  
 (2) 大会参加に際し守るべき条件  
 ア 県高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に  
 従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。  
 イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入してお  
 くなど、万全の事故対策を講じておくこと。  
 ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- (9) 大会参加制限  
 外国人留学生の出場枠について(出場枠を設けている専門部に適用)  
 ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。  
 イ 在籍校が、県高等学校体育連盟に加盟していること。  
 ウ 年齢は、平成17年(2005年)4月2日以降に生まれたものとする。  
 エ 短期留学生は認めない。  
 オ 人数については全国高等学校総合体育大会に準じて各専門部で制限を設ける。

9 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。  
 (2) 引率責任者は、当該校の職員(但し、事務職員・技術職員を除く)とし、参加選手の行動に対して責任を負うものとする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。  
 (3) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

10 競技順序

開場時間	8時30分	開場時間	8時15分
主任会議	9時00分	主任会議	9時00分
役員打合せ	9時20分	役員打合せ	9時20分
開会式	10時05分~(10分間)	競技開始前連絡	10時05分~(10分間)
競技開始時間	10時20分	競技開始時間	10時20分

1日目				2日目					
No	性別	距離	種目	予/決	No	性別	距離	種目	予/決
1	女子	4×100m	フリーリレー	タイム決勝	27	女子	4×100m	メドレーリレー	タイム決勝
2	男子	4×100m	フリーリレー	タイム決勝	28	男子	4×100m	メドレーリレー	タイム決勝
3	女子	100m	背泳ぎ	予選	29	女子	200m	個人メドレー	予選
4	男子	100m	背泳ぎ	予選	30	男子	200m	個人メドレー	予選
5	女子	100m	バタフライ	予選	31	女子	200m	背泳ぎ	予選
6	男子	100m	バタフライ	予選	32	男子	200m	背泳ぎ	予選
7	女子	200m	自由形	予選	33	女子	200m	平泳ぎ	予選
8	男子	200m	自由形	予選	34	男子	200m	平泳ぎ	予選
9	女子	100m	平泳ぎ	予選	35	女子	200m	バタフライ	予選
10	男子	100m	平泳ぎ	予選	36	男子	200m	バタフライ	予選
11	女子	50m	自由形	予選	37	女子	100m	自由形	予選
12	男子	50m	自由形	予選	38	男子	100m	自由形	予選
13	女子	800m	自由形	タイム決勝	39	女子	400m	自由形	タイム決勝
14	男子	1500m	自由形	タイム決勝	40	男子	400m	自由形	タイム決勝
15	女子	400m	個人メドレー	タイム決勝	41	女子	200m	個人メドレー	決勝
16	男子	400m	個人メドレー	タイム決勝	42	男子	200m	個人メドレー	決勝
17	女子	100m	背泳ぎ	決勝	43	女子	200m	背泳ぎ	決勝
18	男子	100m	背泳ぎ	決勝	44	男子	200m	背泳ぎ	決勝
19	女子	100m	バタフライ	決勝	45	女子	200m	平泳ぎ	決勝
20	男子	100m	バタフライ	決勝	46	男子	200m	平泳ぎ	決勝
21	女子	200m	自由形	決勝	47	女子	200m	バタフライ	決勝
22	男子	200m	自由形	決勝	48	男子	200m	バタフライ	決勝
23	女子	100m	平泳ぎ	決勝	49	女子	100m	自由形	決勝
24	男子	100m	平泳ぎ	決勝	50	男子	100m	自由形	決勝
25	女子	50m	自由形	決勝	51	女子	4×200m	フリーリレー	タイム決勝
26	男子	50m	自由形	決勝	52	男子	4×200m	フリーリレー	タイム決勝

後片付け・閉会式

11 申込方法

- Web-SWMSYSで申し込み登録をする。  
 【提出物】 ●令和6年度茨城県高体連水泳専門部競技会申込書  
 ●競技会申し込み(エントリーTIME)データ一覧表  
 ●競技会申し込み(リレー)データ一覧表 …リレー種目に出場しない学校は不要  
 ●競技会申説明細表(料金表)

12 大会参加料

この大会に限り大会参加料が発生する。  
 大会当日の朝、受付で徴収する。当日棄権者の参加料は返金できない。  
 大会参加料は、(競泳)個人種目 1,300円、リレー種目 2,000円  
 (飛込)個人種目 1,300円  
 (水球)1チーム 12,000円

13 参加制限

1校1種目3名以内、1人2種目以内とする。  
 ただし、リレー種目は、1校1種目1チームとする。  
 ※1校1種目4名以上出場する場合は、4番目以降の選手をオープン参加として大会出場を認める。尚、申し込みの際には、「誰がオープン出場か分かるように」明記すること。(エントリーTIMEデータ一覧表の、選手名の左わきに「OP」と記すこと。)

～オープン(OP)参加選手の出場条件について～

- ① 学校対抗の得点にはならない。  
 ② 出場は予選競技のみとする。また、ランキングから除外し、決勝競技には出場できない。  
 ③ 関東標準・全国標準を突破しても、本大会への出場は出来ない。また、好記録であっても新記録の認定を行わない。

14 申込締切

令和6年 5月 7日(火) 正午 までに必着のこと。

15 申込先

茨城県立 大洗 高等学校 麻 植 崇 允  
 〒311-1311 東茨城郡大洗町大貫町2908番地

16 プロ編成

令和6年 5月 8日(水) 茨城県立 大洗 高等学校

17 表彰

団体男女別、個人種目・リレー種目共に上位8位までの入賞者に賞状を贈る。

18 その他

- (1) 参加校の選手は、必ず当該校の職員または部活動指導員によって引率され、参加選手の行動に対して責任を負うものとする。引率のいない学校の選手は出場を認めない。  
 (2) 当日の開門時間を厳守して、早朝からの場所取りは認めない。常に高校生らしい態度で臨むようにする。



- (3) プールサイドは履き物禁止、素足で入場する。施設（ロッカー室・更衣室・トイレ等）を利用するときは、整理整頓に努め、使用した物の後片付けをして、正しいマナーを身につけること。（ゴミは、各学校でビニール袋を用意して持ち帰ること。）
- (4) 貴重品の管理は、各学校で責任を持って行うこと。
- (5) 会場準備は7時30分から水戸地区・県北地区が担当する。後片付けは競技終了後に参加校全体で行う。係分担については、後片付け係分担を参照すること。
- (6) W-u-p時間について〔予定〕  
全地区 8:30 ~ 9:55 (85分) (メイン・サブ)  
尚、公式スタート練習時間については、後日発表する。

### 競技会当日の注意事項

- (1) 競技役員について
  - ①競技役員は、引率職員とする。（各学校から、少なくとも1名以上。）
- (2) 競技進行上の注意について
  - ①競技は、2024年度（公財）日本水泳連盟 競泳競技規則による。
  - ②競技におけるスタートは、1回とする。フォルススタートに注意する。
  - ③プールの水深は1. 4m（取手GSCプール、笠松サブプール）、  
2. 0m（笠松メインプール）、水温は25度～28度とする。
  - ④リレー種目における引継ぎ時間の判定は、機械優先で行うので十分注意をすること。-0.03秒までは許容し、-0.04秒以上は失格となる。
  - ⑤ゴールしたら、できるだけ早く退水すること。（15秒以内に上がる。）  
特にリレー種目の場合は、引継ぎの判定、ならびに全自動装置の作動を妨げないように注意すること。
  - ⑥競技中は、次の競技者はスタート以前に入水しないこと。身体を濡らすため水を浴びる場合は、スタート台付近に設置の容器の水を用いて行う。（これに違反すると、失格として競技から除外される。）
  - ⑦背泳ぎのスタートの場合は、足から入水し、アップ等のスイムは行ってはならない。
  - ⑧選手は、招集所で必ず点呼を受けること。招集を受けない者は、棄権として扱う。
  - ⑨招集時刻は、20分前までに集合すること。招集に遅れないようにすること。
  - ⑩競技の進行は、進行表記載の±20分以内とする。
  - ⑪リレーオーダー用紙は、所定の時間までに「本部」へ必ず提出する。  
提出締切時刻は、プログラムで確認すること。また、提出後の変更はできない。（傷病による急な変更を除く。）
  - ⑫競技者は、傷病または不測の事態等の正当な理由なく競技出場権を放棄してはならない。棄権する場合は、棄権届出用紙に必要事項を記入し、招集所に競技開始20分前までに提出すること。
  - ⑬リレー種目の決勝の前に10分程度の休憩を取ることとする。
  - ⑭テープ類・アクセサリを着用して競技に出場することは禁止とする。  
ただし、怪我等によるテーピングの使用は、審判長の承諾により許可する。監督（引率顧問）は、競技会開始前までに「テーピング許可願」を「本部」へ必ず提出すると同時に、該当選手を「本部」へ連れてくる。
  - ⑮プログラムに脱落やミスプリントがある場合は、プログラム訂正用紙に必要事項を記入し、直ちに招集所に届けること。
  - ⑯一時的に競技能力の上昇を図る目的で、薬品または嗜好品等を用いないこと。
  - ⑰記録速報は「掲示板」に掲示する。
  - ⑱ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。

⑱<山新スイミングアリーナ・メインプール>

決勝進出は全種目とも10名(10チーム)とするが、同タイムのため11名(11チーム)以上となった場合は、スイムオフは行わず抽選により決勝進出者を決定する。

(3) 会場利用上の注意

山新スイミングアリーナ会場利用上の注意

- ①会場準備は、水戸地区・県北地区の高校で行う。他の地区(県東・県南・県西地区)の高校の開場時間は、8時30分とする。時間厳守の上、早朝からの場所取りは認めない。  
選手(水泳部に所属するマネージャーも含む)は、2階アプローチデッキから入場する。常に高校生らしい態度で臨むようにする。また、スタンドの場所取りは、指定されたエリアで行うこととする。  
  
選手以外(保護者・来会した家族等)の観覧場所は、スタンドA・B・Cブロック上段及び下段とする。選手エリアに立ち入ることを禁止する。入退館については、選手と同様に2階アプローチデッキからとする。
- ②プールサイドは履き物禁止、素足で入場する。
- ③1階エントランスでの、素足・水着のみの移動・食事・ミーティング・ストレッチは禁止とする。
- ④指定された場所以外での場所取りは禁止とする。敷物・シート・折りたたみ椅子等を用いて場所取りを行うことも禁止する。
- ⑤施設「観客席・更衣室・ロッカー・トイレ(トイレの排煙装置には触れない)・選手控え室等)利用するときは、整理整頓に努め、使用した物の後片付けをして、正しいマナーを身につけること。  
(ゴミは、各学校でビニールを用意して必ず持ち帰ること。)  
2002年茨城総体開催記念事業「高体連クリーンプロジェクト」の一環として継承する。
- ⑥更衣室内のロッカーは使用しない。貴重品・荷物等は各自管理する。
- ⑦引率顧問の駐車場は、第6駐車場(プール西側砂利敷き)を使用する。マイクロバス等での選手の送迎・待機・保護者による送迎も、第6駐車場で行うこと。
- ⑧貴重品の管理は、各学校で責任を持って行うこと。盗難等の事故に関しては、一切の責任を負わない。
- ⑨エレベーター、サブプールスタンド奥の通路階段の使用は禁止する。
- ⑩会場内でのビデオ・カメラで撮影する場合は、必ず「許可」を受けること。撮影終了後は、速やかに返却すること。  
赤外線フィルター(赤、オレンジ等)やナイトショット機能等を用いての撮影は禁止する。  
「撮影許可証」を発行するので、撮影する際は必ず首から「撮影許可証」をかけること。  
大会終了後、「撮影許可証」は速やかに受付へ返却すること。  
写真屋等の業者が卒業アルバム等で撮影する場合は、高体連の撮影許可を得てから笠松運動公園事務所で撮影行為の許可申請(700円)を受けること。
- ⑪朝の受付時に、引率顧問(1部)と各学校(1部)にプログラムを配布する。保護者の方には、1部300円にて販売する。
- ⑫高校生として品位を保ち、節度ある応援を心がけること。応援は、競技運営に支障のないように注意すること。(審判長の笛が鳴ってから、出発の合図が終わるまでは禁止する。)
- ⑬プールサイドまで出での応援・コーチは絶対しないこと。

⑭スタンドの出入口扉は、施設内の換気の関係上、開けた状態を保つ。

⑮会場の後片付けは競技終了後に参加校全体で行う。係分担は次のとおり。

**山新スイミングアリーナにおける後片付け係分担** (メイン・サブ使用時)

- |             |                                      |
|-------------|--------------------------------------|
| (水戸地区)      | メインプールのレーンロープ・タッチ板・スタート台・プールサイド水まき 等 |
| (県南地区)      | サブプールのレーンロープ・赤台撤去・プールサイド水まき          |
| (県東地区)      | 2階スタンドとエントランスのゴミ拾い・速報掲示板の撤去 等        |
| (県北地区、県西地区) | 更衣室とトイレ及びその周辺の清掃                     |

\*指示等はサンアメニティの立ち会いの下、後片付け・清掃をお願いします。  
\*最終確認は、各地区委員長の指示の下、引率顧問の先生方をお願いします。

**山新スイミングアリーナ 競泳・飛込競技会場  
2階配置図**

**保護者専用観覧席は、Aブロック・Bブロック・Cブロックです。  
密を避け、間隔をあけて利用してください。  
(選手専用観覧席D～Mブロックへは、立ち入らないでください。)**

